

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【上下水道局関係】</p> <p style="text-align: right;">P 9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道事業における老朽施設の計画的な更新を促進されたい。人口減少に対する施設の集約化や技術の継承を図られたい。</li> <li>鉛管の交換を早期に実施されたい。</li> </ul>	<p>水道施設の更新につきましては、「もりおか水道施設整備構想」及び「第三次盛岡市水道事業基本計画」に基づき計画的に進めているところであり、浄水場等施設につきましては、将来の人口減少を見据えた施設整備や浄水場の集約化について、重点的に取り組んでおります。管路につきましては、老朽化した管路の更新を最優先に進めているところでございます。</p> <p>老朽化した下水道施設につきましては、平成24年度に策定した「盛岡市下水道長寿命化計画」に基づき、国の交付金を活用し計画的な改築更新に努めているところでございます。処理施設については、平成26年度から東安庭二丁目地内の中央監視制御棟設備更新工事を実施しており、管路施設については、平成26年度から菜園・内丸地区の合流管の管更生工事を実施し、施設の更新（延命化）を推進しているところです。なお、下水道施設全体のストックマネジメント計画については、令和元年度中の策定に向け作業を進めているところでございます。</p> <p>なお、技術の継承につきましては、上下水道局における経験年数に合わせたOJTなどによる職場研修を実施しているほか、水道技術研修施設を活用した技術継承研修、八戸圏域水道企業団・岩手中部水道企業団とのパートナーシップに関する覚書に基づく研修などを実施し、現場技術の習得や職員の技術力向上を図っており、引き続き技術の継承に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部総務課・水道建設課・下水道整備課）</p> <p>鉛製給水管の解消につきましては、鉛に係る水質基準が平成15年4月から改正されることを受け、平成14年度に鉛製給水管解消事業基本計画、翌平成15年度には実施計画を策定し、鉛製給水管の解消に取り組んできたところでありますが、未だ鉛製給水管が残存している状況であります。現在は給水装置の所有者に対しまして、鉛製給水管の布設替え工事費への助成制度を設けて解消を促進すると共に、経年管更新事業等の他事業による工事の際に鉛製給水管の解消を進めており、今後も広報等を通じまして助成制度の周知を図りながら、引き続き解消に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部給排水課）</p>

## 盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 9</p> <p>・ 水道事業広域化にむけた工程や概要を早期に市民に示されたい。</p>	<p>水道事業の広域化につきましては、平成28年2月29日付け総務省通知「市町村等の水道事業の広域連携に関する検討体制の構築等について」及び同年3月2日付け厚生労働省通知「水道事業の広域連携の推進について」が各都道府県あて発出され、岩手県においては、平成29年1月23日付けにて「岩手県水道事業広域連携検討会」が設置され、県内5ブロックの検討会により様々な検討が行われたところであります。</p> <p>県内5ブロックのうち、盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町及び矢巾町の6市町で構成する「盛岡広域ブロック検討会」においては、現況と課題、他都市の取組状況、広域連携の可能性の検討等を報告書として取りまとめて、平成31年3月に盛岡市上下水道局及び構成市町の各ホームページにおいて公表したところであります。</p> <p>また、平成31年1月25日付け総務省及び厚生労働省通知において、都道府県に対し「水道広域化推進プラン」を令和4年度末までに策定するよう要請されており、策定主体である岩手県においては今後、水道事業の広域化の推進方針等の検討に着手し、広域連携の取組を推進する予定であると伺っております。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部経営企画課）</p>
<p style="text-align: right;">P 10</p> <p>・ 新米内浄水場整備の全体像を市民に公表されたい。</p>	<p>米内浄水場につきましては、創設から85年を経過しており、施設の更新について基本計画策定に向けた取り組みを進めているところであり、令和10年代半ばの完成を目標としております。施設内容の検討や今後の関係機関等との協議を踏まえ、全体像が決定しましたら市民に公表することとしております。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部水道建設課）</p>
<p style="text-align: right;">P 10</p> <p>・ 下水道熱の利活用をされたい</p>	<p>下水道熱を利活用した施設は、過去に市内で導入した事案がありますが、現在事業中の箇所においては、見込んでいるところはありません。しかしながら、新たな下水道の役割を積極的に果たしていくため、今後につきましても他都市の事例について注視してまいりたいと存じます。また、下水道熱を活用した他都市での融雪装置への導入事例などがございますので、活用していただける事業者への積極的な情報提供に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部下水道整備課）</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未利用地の売却や有効活用をされたい。</li> </ul>	<p>未利用地については、売却や上下水道局における有効活用を検討してまいりますが、既存廃止施設の解体・撤去に多額の費用が必要なこと、活用が難しい場所に位置していること、国庫補助金等が充当されている施設もあること等から、財政状況や有効活用の可能性等を踏まえ検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部総務課）</p>